

○ 近畿・中国・四国地方の地震活動

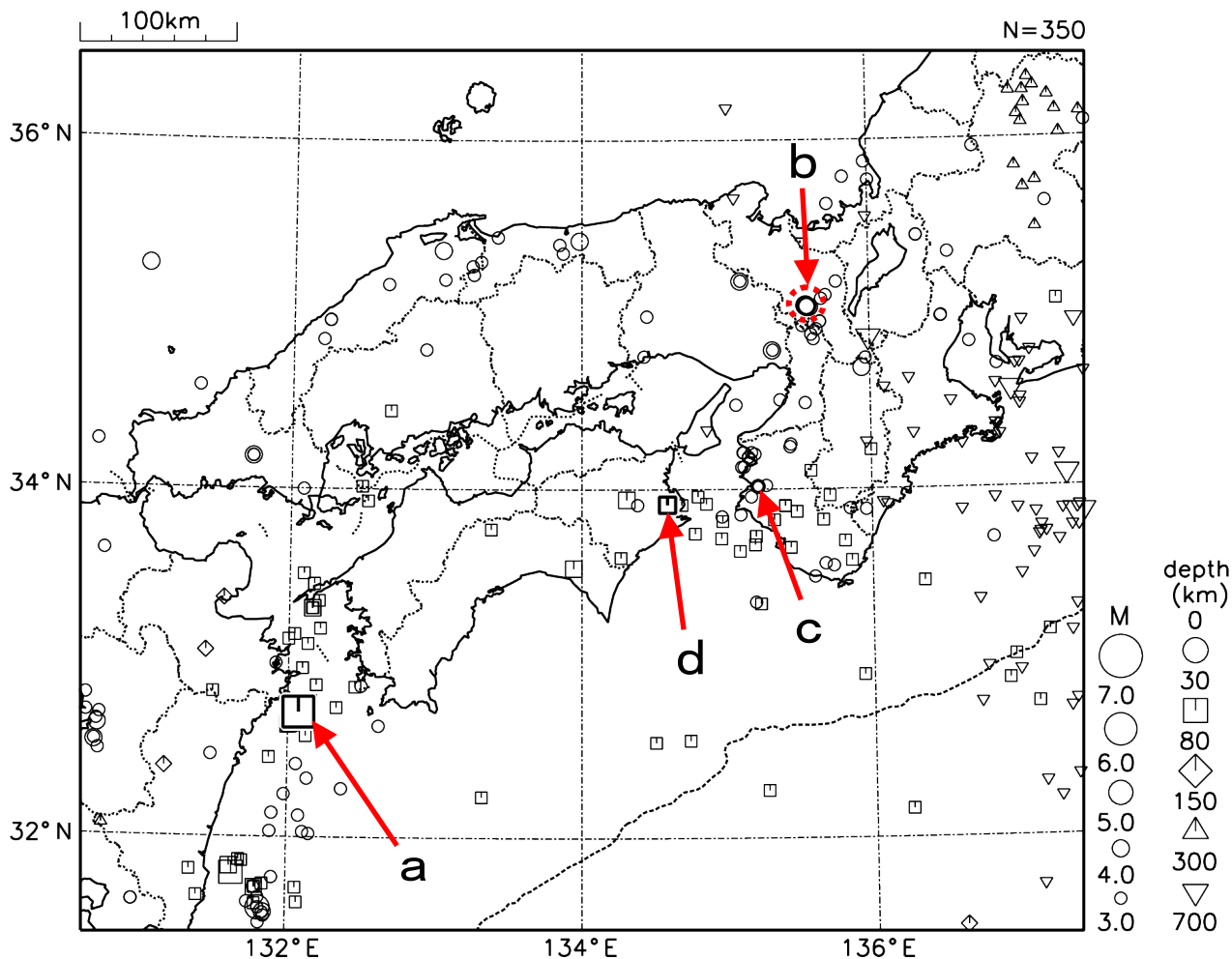


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2022年1月1日～12月31日、 $M \geq 3.0$ ）

〔概況〕

2022年に近畿・中国・四国地方で震度4以上を観測した地震は5回（2021年は9回）であった。2022年中の主な活動は次のとおりである。

1月15日13時頃（日本時間）にトンガ諸島付近のフンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山で発生した大規模噴火に伴い、全国各地で潮位変化を観測した。

1月22日01時08分に日向灘の深さ45kmでM6.6の地震（図8中のa）が発生し、大分県と宮崎県で震度5強を観測したほか、九州地方から中部地方にかけてと伊豆諸島の一部で震度5弱～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、重傷1人、軽傷1人、住家一部破損2棟などの被害が生じた（2022年11月18日現在、総務省消防庁による）。

京都府南部（図8内の領域b）の地殻内では2022年3月31日から6月上旬にかけて地震活動が活発となり、震度1以上を観測する地震が16回（震度4：2回、震度3：2回、震度2：4回、震度1：8回）発生した。このうち、震度4以上

を観測した地震は、3月31日23時34分に深さ13kmで発生したM4.4の地震（最大震度4）及び5月2日22時21分に深さ13kmで発生したM4.4の地震（最大震度4）である。これらの地震は地殻内で発生した。

4月6日17時14分に和歌山県北部の深さ6kmでM3.6の地震（図8中のc）が発生し、和歌山県湯浅町で震度4を観測したほか、奈良県及び和歌山県で震度3～1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

6月17日00時51分に徳島県南部の深さ45kmでM4.9の地震（図8中のd）が発生し、徳島県阿南市で震度4を観測したほか、中部地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。